

経済学委員会分科会の設置について

分科会等名：数量的経済・政策分析分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	経済学委員会
2	委員の構成	18名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>日本経済や世界経済の政策議論において、一般社会やマスコミでは、事実客観的データに基づかない主張が横行しているように見受けられる。こうした議論は結果的に人々の利益を損なう危険が大きい。</p> <p>実際の事実・データに基づいた経済・政策議論を根付かせるためには、データを用いて科学的な根拠に裏づけされた方法で実証できる人材が必要である。そうした人材の育成および事実・データに基づく経済・政策の議論を世の中に浸透させていくことは、経済学委員会のひとつの重要な役割と考えられる。本分科会では、計量・統計の理論・実証分析研究者を中心に、応用経済学者、官庁・中央銀行などの政策担当者、民間シンクタンクで活躍するスタッフなどを対象として、経済事象を実証的に分析するための分析道具に関する有益な情報や再教育の場を提供する。また、そうした先端的分析道具の開発と研究を目的として分科会活動を実施する。具体的には、応用計量経済分析者および手法開発者を対象としたチュートリアルセッションや計量・統計理論のシンポジウム等を開催していく。また、実際の実証分析を用いたシンポジウムなどでは政策提言も行う。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. チュートリアルセッションの開催 2. シンポジウムの開催など 3. 経済・政策に関する提言
5	設置期間	<p>期限設置 平成 年 月 日～ 月 日</p> <p><input type="checkbox"/> 常設</p>
6	備考	<p>※定数の変更</p> <p>所属希望者が多数だったため、委員の構成を14名以内から18名以内に改正したもの。</p>

